

さがみ縦貫道路で地域性苗木の植樹を行います ～自ら拾ったどんぐりをさがみ縦貫道路に植えよう!～

地域と一緒に環境保全に取り組むために、小学生が地元で拾ったどんぐりの苗木を育て、さがみ縦貫道路に植樹します。

植樹にもちいる苗木は、相模原市内の小学生が拾ったどんぐりを(株)高速道路総合技術研究所の緑化技術センターで育成したもので、どんぐりを拾った地域において植樹します。

■実施場所

相模原市緑区小倉(相模原ICのり面)

■実施日時

相模原市立湘南小学校:平成25年11月8日(金) 13:40～15:15
(雨天の場合は11月11日(月)に順延)

相模原市立広陵小学校:平成25年11月14日(木)9:40～12:10
(雨天の場合は、11月18日(月)に順延)

■参加者

相模原市立広陵小学校:5年生(約30名)

相模原市立湘南小学校:1・2・3・4年生(約20名)



どんぐり拾い状況(H23.10～11)



どんぐり拾い(播種※作業)(H23.10～11)

※ 播種(はしゅ):植物の種をまくこと。



植樹の状況(H24.11)

地域性苗木を植樹するまでの流れ

地域特有の生育環境を保全するため、
地域に自生する樹木の種を採取し、苗木になるまで育て、
その苗木を高速道路に植える取り組みを行っています。



- ① その地域に自生する種子(どんぐり)の採取を行います。

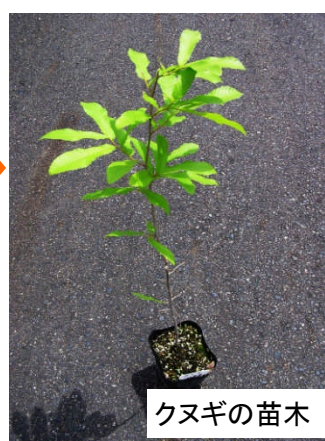


小学生による種拾いの様子

- ② 採取した種は、袋につめて(株)高速道路総合技術研究所の緑化技術センター(滋賀県)に送り、トレイで発芽させます。



- ③ 発芽したものをポット等に入れ、センターにあるビニールハウス内で育て、苗木にします。



クヌギの苗木

- ④ 育てた苗木は、種を採取した地域の高速道路の
のり面などに植えます。



地域の皆様による植樹の様子